

浜岡原子力発電所(放射線管理区域内設備)における ドローンを活用した点検の実施について

2021年11月4日

当社は、このたび、浜岡原子力発電所構内の放射線管理区域内に設置しているタンクの点検作業に、ドローンの活用を開始したことからお知らせします。

当社では、作業員の作業被ばくの低減、労働災害リスク(高所作業等)の低減および作業効率の向上を目的に、放射線管理区域内に設置しているタンクの点検作業へのドローンの活用を検討し、屋外タンクでの試験を行ってきました。

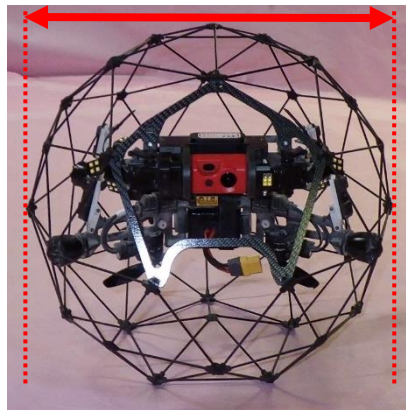
その結果、ドローンの映像でこれまでと同等の目視試験が実施できることを確認したことから、2021年11月1日より、浜岡3号機の放射線管理区域内に設置している放射性液体廃棄物貯蔵タンクの点検(目視試験)においてドローンの本格運用を開始しました。

これまでは人の目で目視試験を実施してきましたがドローンの映像を遠隔で確認することにより、タンク内を点検するための足場設置・解体作業および高所作業が不要となり、より安全に点検を行うことができるとともに、これまでと比較してタンク内での作業量が約80%削減できるため、作業員の被ばくも約80%低減できる見込みです。

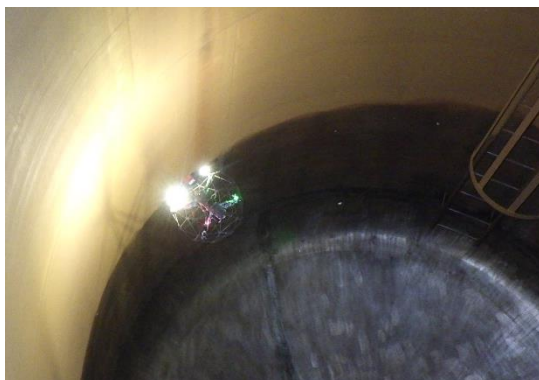
今後は、タンク以外の設備の点検へのドローン活用も検討していきます。

これからも、安全を最優先に浜岡原子力発電所の運営に努めてまいります。

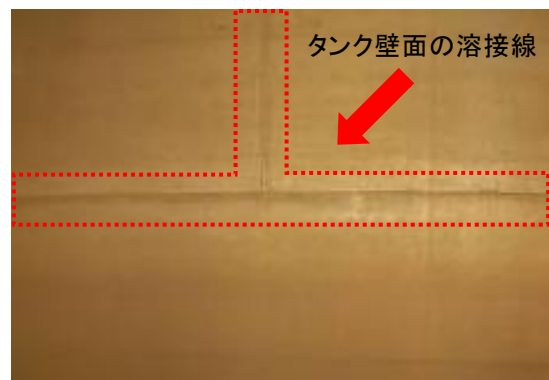
直径約40cm



ドローンの写真



ドローンを活用した点検の様子



ドローンで確認したタンク内面の写真

以上